

平成21年11月20日

名張市長 亀井利克様

名張市都市計画審議会 会長 辰巳雄哉

名張市都市マスタープラン改定検討委員会 委員長 久隆弘



名張市都市マスタープランの改定にかかる意見について(最終報告)

平成21年6月30日付名都計第109号で依頼のありました、名張市都市マスタープランの改定について、下記のとおり意見を報告します。

なお、計画の推進にあたっては、第二部「実現に向けて」にあるように、まちづくりの主体である市民・地域等との協働が不可欠であることから、「新しい公」による社会形成など計画の実現に向けた体制の整備に努めるとともに、本計画の趣旨や内容をわかりやすい形で積極的に市民に周知し、広く市民の理解と協力を得るように求めます。

今後、都市マスタープランを基本として、市民・事業者・行政などまちづくりに携わるそれぞれの主体が、共通の目標に向かい、協働と連携による活発な取組みが展開されることを期待します。

記

1. 多くの市民が都市マスタープランに親しみを持ち、共通の目標としての理解を深めるため、表現は簡潔でわかりやすいものとする。
2. 都市のビジョンについては、持続可能な集約連携型の都市構造を目指すにあたり、計画の柱である、「多様な居住」、「連携の強化」、「美しい都市」の考え方を踏まえ、希望あるまちづくりへの負託に応える市民共通の目標として、親しみある表現とすること。
3. 都市施設整備の方針については、当該施設の担う役割や整備効果等について、多面的な観点から整理を行うと共に、各施設の共通の役割である、安全で快適な市民サービスの提供に留意し整理すること。